

# kanamoto ■ カナモトエグザミネー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



Hé, le gosse, c'est interdit de faire du feu ici !  
Qu'est-ce que vous faites là, ça sent rudement bon ?

食う...?


通じなごしんぼ

vol.53


第46期(2010年10月期)第3四半期号


3Q



2010.5


 平成22年10月期業績予想修正について発表


2010.6


 第46期(2010年10月期)第2四半期決算発表


 サンクスフェア in 北上を開催



 【東京】第46期第2四半期決算説明会を実施(アナリスト協会) 


 サンクスフェア、苫小牧・山形・長岡・大館の各営業所で開催


 ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケット」に出演



 香港政府主催の歓迎レセプションに招待されました

 サンクスフェア in いわきを開催



 セガサミーカップゴルフーナメントに協賛 

 サンクスフェア in 岩見沢を開催

 サンクスフェア in むつを開催

 カナモトのホームページをリニューアル 

当社ホームページ([www.kanamoto.co.jp](http://www.kanamoto.co.jp))をリニューアルしました。デザインを整理したほか、プロゲやキッズコーナーなどのコンテンツも充実させました。11月にはIRサイト([www.kanamoto.ne.jp](http://www.kanamoto.ne.jp))もリニューアル予定です。


 【札幌】日本証券新聞社主催の個人投資家向けセミナーに参加 



7月30日、札幌すみれホテルで開催された個人投資家向けセミナーに当社も参加しました。当日は社長室広報担当課長の高山雄一から建機レンタル業界の概況や当社の海外展開などについてご説明いたしました。

2010.7


4Q

2010.9


 第46期第3四半期決算発表

 日経IRフェア2010に出展 

夏恒例のIRイベント「日経IRフェア」に今年も出展しました。9月3日、4日の開催2日間の来場者数は延べ15,000人超。当社ブースにも大勢の方々にお集りいただきました。




 【札幌】個人投資家説明会を実施(大和証券)

日経IRフェアのわずか2日後の9月6日には、大和証券札幌支店で個人投資家説明会を開催。こちらにも大勢の皆様にお越しいただき、カナモトについてご説明いたしました。

 ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケット」に出演

 Rally JAPAN(北海道)をアシストしました

 サンクスフェア in 旭川を開催

凡例  IR関係  イベント  社内のイベント ※青文字:本号3ページに関連記事を掲載

## カナモトの株主優待って...?

「20tクラスまでの油圧ショベル1日無料券をお贈りします」と言って喜んでいただけるのは建設会社さんだけ、か…。  
ということで、この案はボツ。

そこで、当社発祥の地・北海道の産品をお選びいただけるようにいたしました。期末株主名簿にお名前を記載いただいた方お一人様につき、3,000円相当の商品を一品。ですから、株主優待というより、長く保有いただいた皆様へのカナモトからのお届けです。

定時株主総会の招集ご通知に、カタログを同封いたしますので、その中からお好みの品物をお選びいただき、株主優待専用はがきに必要な事項をご記入のうえ投函していただくだけです。因みに不肖社員株主である編集人は、優柔不断すぎて、選びきれませんでした(T\_T)



## 香港政庁の歓迎レセプションに招待されました

6月22日、香港政庁が主催する、この1年間に新たに香港に進出した有力海外企業（中国本土からの進出も含む）の歓迎レセプションに、当社子会社の金本(香港)有限公司も招待されました。香港のここ数年のGDP成長率は8.2%で、なかでも2010年第1四半期の伸長は著しく、この成長は海外企業の功績が大きいとのこと。金本(香港)では地元に着した下水道工事などのほか、高速鉄道や地下鉄など

の大型プロジェクトに建機を供給しており、今後も一地元企業として、香港珠海マカオ大橋などへ参画して一層の事業拡大に努めてまいります。kca



各国の有力海外企業が招待されたレセプション

## 今年も長嶋茂雄INVITATIONALセガサミーカップ(2010/07/22~25)に協賛



当社の名入り看板が設置された18Hのティールラウンド

7月第3週、ザ・ノースCG（千歳市）に、大勢のギャラリーも帰ってきました。移動する黒山の人だかりは石川遼選手の目印。いやはや、大したものです。

当社ではイーグル賞（18H）のほか、仮設ハウス・トイレ、発電機などを準備させていただきました。ところで予選前日に開催されるプロアマ戦で当社関係者とラウンドされた選手は何故か同じシーズン中に優勝されてるんです。2008年の小田孔明選手、そして今年は谷原秀人選手。来年も続けば、新たなジnkスの誕生、ですぞ。kca

## Rally JAPAN 2010もアシスト!

9月9～12日、北海道で開催された世界ラリー選手権第10戦 Rally JAPAN。発電機から仮設ハウス、フェンスなど会場設備をお手伝いいたしました。世界で唯一、屋内走行する札幌ドームでは、カクテルライトの中を右に左に躍動するWRCマシンが余すことなく見られ迫力満点でした。でも何よりも素敵に見えたのは、当社の投光機を頼りに

黙々と作業していたメカニックでしょうか。次回の開催は2012年。さて、皆さんはマシンとメカニック、どちらをご覧くださいますか? kca



メカニックのサポートに“尽力”した投光機

## 今年も好評でした。カナモトサンクスフェア2010

恒例行事となったカナモトサンクスフェア。今年も北海道と東北を中心に11ヵ所で開催されました。中でも当期の最後を飾るサンクスフェア in 旭川(9/11・12)は、爽やかな秋晴れに恵まれ、2日間で約3,000名のお客様にご来場いただきました。例年同様、建機メーカー各社のブースも軒を並べ、ミニ建機や仮設ユニットハウスなどの即売会が大好評。もちろん、お仕事ばかりじゃ詰まりません。綿あめに焼きそばなどの飲食コーナーあり、フワフワドームに、ミニショベルや高所作業車の体験試乗など、大人も子供も長蛇の列でした。

で、当社のイチ押しはなんと言ってもカナモト・リバイバル・バンド。実は学生時代に追っかけの女の子たちを引き連れてライ

ブをこなしてきたカナモト自慢のプロ顔負けの面々なんです。会場の皆さんもノリノリでした。小誌の記事をご覧になられた関東や近畿中部、九州の皆様から、今回は当地でも開催をと、お声掛けをいただくカナモトサンクスフェア。カナモトグループの皆さん、そろそろ全国でやらねばならないようですぞ。来年も皆様のご来場を、役員一同心よりお待ちしております。深謝! kca



“もちまき”も大勢の方に喜んでいただきました



## カナモトの海外事業展開

今回は、当社取締役執行役員海外事業部長の棕梨直樹に、当社の海外事業展開について、インタビューしました。

### 良きパートナーとともに展開する、中国での建機レンタル事業

**編集** カナモトの海外展開について、いろいろとお聞かせいただきたいと思います。中国本土の上海金和源グループ、香港の金本(香港)、米国準州であるグアムのSJレンタルとあるうち、連結対象となっている上海金和源グループが好調ですが？

**棕梨** 上海金和源グループは営業を開始してから3年目ですが、軌道に乗ってきました。

**編集** 要因は何でしょうか？

**棕梨** いくつか要因はありますが、やはり、良きパートナーを得たことが一番でしょうね。

**編集** 米源集団、ですね？

**棕梨** そうですね。米源集団の陳董事長、日本式に言うところの陳社長は、中国の医療系の大学を卒業後、富山大学経済学部で留学されていて、これからはレンタルのサービス形態が中国経済の発展に寄与すると考えられていたんですね。パートナーとなる以前から、当社の会長が執筆した建機レンタルの考察についても読まれていましたし、当然、当社にも訪問されていました。それに、日本でも有数のクレーンチャーター会社である米原商事さんとの親交も深く、中国各地に拠点を置いてクレーンチャーター事業を展開しています。その発展系に建機レンタル事業があった訳ですね。

### 高度な土木工事用の機械をはじめとする“中国対応”の商品構成

**編集** ところで、中国でも日本と同様に油圧ショベルやブルドーザーといった土木機械を中心に貸し出されているのですか？

**棕梨** いえ、中国では日本の当社のラインナップとは全く異なる商品構成で、且つ、レンタルの形式も日本の方式と異なる手法で展開しています。中国ではこれまで、現場で使用する機械の購入代金までを含んだ予算が組まれてきたため、油圧ショベルなどの所謂使用頻度の高い建機は、ゼネコン各社の保有数が多い状態なんですね。インフラ工事もたくさんあるため、当然、購入意欲も高い。つまり、日本の高度成長期初期の頃の建設業界に近い状態で、レンタルへの需要はまだ先の話なんですね。一方、地下鉄工事や橋梁工事といったこれまでの土木よりも高度な土木工事が増えてきており、これに使用する機械などへの需要は相当なもので、上海金和源グループのうち、上海金和源建設工程有限公司では地下鉄工事に使用するシールド掘進機や、連壁マシンなどをレンタルしています。一方、上海金和源設備租賃有限公司では一般的な建設機械や仮設ユニットハウスなどをレンタルしています。

**編集** なるほど。シールド掘進機というのは地下鉄が通るトンネルを掘り進む機械ですね。連壁マシンというのはどういった機械ですか？

**棕梨** 簡単に説明するのはなかなか難しいのですが、遮水や山留壁あるいは構造物の基礎等を構築するために連続した溝状の掘削を行い、そこにコンクリートの壁を作っていく機械。それが連壁マシンです。

**編集** 当社グループの東洋工業社やKGマシナリー社が得意とする分野の機械ですね？

**棕梨** そうですね。



## 上海万博でも活躍している高所作業用機械

**編集** 中国で仮設ユニットハウスもレンタルしているとは予想外でしたが、一般的な建設機械というのをもう少し詳しく教えてください。

**棕梨** 先程お話したように、油圧ショベル等々のレンタルへの需要移動については、もう少し先になりそうです。現在は、高所作業用機械が建機レンタルの主力機種になっています。

**編集** 上海万博でも多数レンタルされていましたね？

**棕梨** はい。日本館をはじめ、各国のパビリオン建設に、仮設ユニットハウスとともどもご利用いただきました。

**編集** ところで、上海万博開催による影響はいかがですか？

**棕梨** 上海万博関連施設の工事は業績にプラスに働きましたが、北京オリンピックと同様に、開催期間中は、上海のほぼ全域で工事がストップしています。上海で工事が出来ない期間、周辺地域でレンタルをする目論んでいたのですが、当初想定していたよりも、早い段階で工事が中断されたため、2ヵ月程、レンタル用機械が遊んでしまったことになり、当初計画した収益を確保するには少々苦労しそうです。



## 収益機会の増加にもつながる「新分野」への進出

**編集** 上海金和源は12月決算ですので、計画達成に期待しています。

ところで、上海以外でのレンタルというのは、分公司を設置した天津のことでしか？

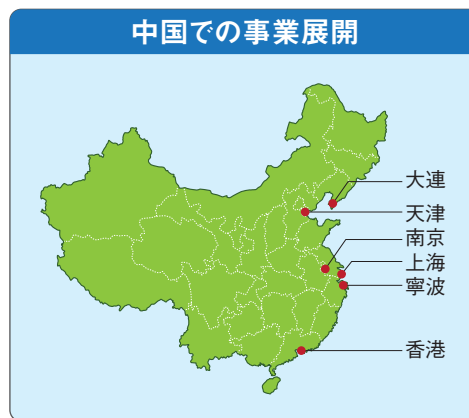
**棕梨** ええ、天津ではシールド掘進機が3基稼働中ですし、それ以外の建機も稼働しています。それと、大連、南京、寧波でも既にレンタルを行っています。特に大連や南京の一大産業といえば造船なんですけど、その造船所に高所作業用機械をレンタルしてるんですね。

**編集** ほう、着々と営業領域を拡大している訳ですね。といいましょうか、これまで建機レンタルのカナモト、イコール建設工事といったイメージでしたが、造船とはこれまでとは違う新分野にも進出しているんですね。

**棕梨** まあ、新分野と言っても、造船はビルを建てるのに似てますから、そう驚かれても困るなあ(笑)

**編集** いやいや、自社の事業展開を誉めるなんて手前味噌にも程がありますが、これはニュースですよ。上海金和源もさることながら、金本(香港)やグアムのSJレンタルについてもお聞きしたいのですが…。

**棕梨** 香港は来年から凄いことになりますね。それこそ、1ページ、2ページじゃ語り切れないなあ(笑)



# 第46期第3四半期決算の概況

[平成21(2009)年11月1日から平成22(2010)年7月31日まで]

## ●連結経営成績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	EPS (円)
46期第3四半期	53,191 (12.6)	2,884 (－)	2,457(－)	1,105(－)	33.68
45期第3四半期	47,258 (－)	△299 (－)	△544(－)	△858(－)	△26.13

## ●通期(2010年10月期)連結業績予想

今回修正予想 (2010年10月6日発表)	69,200 (8.4)	2,250 (－)	1,760(－)	670(－)	20.40
前回発表予想数値 (2010年9月3日発表)	67,300 (5.4)	1,340(875.8)	730(－)	330(－)	10.04

(注1) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益における括弧内の数字は、対前年同四半期増減率(%)を示しております。

(注2) 2010年9月3日発表の第46期通期の業績予想について、2010年10月6日に修正を発表しました。

(注3) 45期は四半期報告制度の適用初年度であり、44期までと適用される会計基準や用語、様式および作成方法に関する規則等が異なるために対前年同四半期増減率は「－」を記載しています。

## 【経営環境】

当社グループの第3四半期の日本経済は、大手企業の業績回復に牽引され、国内景気も徐々に回復傾向にあったものの、今年に入り度重なる欧米の経済不安と中国経済の減速懸念が表出したこと、さらに急速な円高基調から外需主導の景気回復に黄信号がともる状況となりました。このような状況下、民間設備投資は引き続き低迷し、さらにサービス、流通産業などのデフレ化は一向に収まりを見せず、また、個人消費に

おいても、エコカー減税やエコポイント制度などの消費刺激策の効果も一巡するなど、今後の一段の景気回復が難しい見通しとなっております。

建設業界にあつては、一部の地方で経済対策関連の建設需要がありましたが、一方で首都圏・大都市圏における民間建設需要の弱さが目立ちました。

## 【第3四半期の累計連結業績】

当社グループの平成22(2010)年10月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、引き続き厳しい収益環境でありました。ただし、前年同期間に比べると全般的に建機レンタル需要がやや改善されたこと、中古建機市況が比較的早期に回復したことなどから、連結売上高は531億91百万円(前年同四半期比12.6%増)となりました。

一方、利益面も、連結営業利益は28億84百万円(前年同四半期は2億99百万円の営業損失)、連結経常利益は24億57百万円(前年同四半期は5億44百万円の経常損失)でした。また、連結四半期純利益は11億5百万円(前年同四半期は8億58百万円の四半期純損失)と改善いたしました。

## 【事業種類別セグメントの業績】

### 建設関連事業

国内の建機レンタルは、期中に年度初めの公共事業の端境期と参院選を控えていたことから、建設工事が一段と減少し、

業者間における価格競争にも拍車がかかるなど、極めて厳しい環境でありました。当社グループでは、新型省エネ機を増強したほか、省力工事にも有用な情報化施工の提案営業を行う

など、競合他社との差別化を図りながら地域シェアの向上に努めました。ただ、第3四半期だけをみると、従来の売上パターンに加え、スポット的な緊急経済対策の関連工事も終焉したことから、第2四半期までの勢いはなかったものの同事業分野における当該累計期間のレンタル売上高は対前年同期比は9.7%増となりました。

地域別対前年同期比は、緊急経済対策関連工事が途切れた北海道地区では陰りが見えつつあるものの29.3%増と二桁伸長を維持、東北地区もシェアアップが奏功し3.6%増を維持、民需の途切れた関東地区(9.4%減)、近畿中部地区(1.4%減)、九州沖縄地区(7.2%減)もそれぞれ地区内のシェアを拡大させ、第2四半期までの減収幅を圧縮しました。特に、豪雨災害の復旧工事が発生した九州、中国、近畿などは引き続き、災害復旧事業が続いており、第4四半期に期待が持てる状況となりました。

また、同事業分野における販売売上高は、中古建機の国際市場が前年に比べ急速に回復したことから、3月以降に急速な円高の影響を受け一部機種に置いて販売価格が下落する現象もありましたが、当社の販売計画は特段影響を受けることなく、対前年同期比107.2%増と大きく伸長しました。

一方、海外での建機レンタル海外子会社のうち、上海金和源グループ(上海金和源設備租賃有限公司、上海金和源建設工程有限公司)は上海の万博開催期間の市内工事の全面休止から、天津や重慶など中国内の大都市圏に建機レンタル

を展開、着実に業績を伸ばしております。

これらの結果、建設関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は492億33百万円(対前年同四半期比15.4%増)、営業利益は28億96百万円(前年同四半期は2億99百万円の営業損失)と計画を大きく上回りました。

#### 鉄鋼関連事業

北海道内においては、官民とも建設投資の減少が著しく鋼材需要も減少しているため、建築資材など取り扱い商材を増強、これまでのゼネコンやファブリーケーターだけではなく新たな鉄鋼需要の発掘に尽力した結果、郡部では対前年同期と変わらない売上高を維持できましたが、札幌圏の落ち込みが大きく響き、第3四半期連結累計期間の売上高は34億32百万円(同19.6%減)、営業利益は17百万円(同0.8%減)となりました。

#### 情報通信関連・その他事業

情報通信関連事業は、国内企業の業績不振から開発関連の実需も低下しておりパソコンレンタルの減少傾向は変わらず、また、商品販売は新型機種の販売も伸長せず一服しました。一方、技術者派遣事業は、企業の研究開発部門への営業が奏功して順調に業績を伸ばしました。

これらの結果、当事業の第3四半期連結累計期間の売上高は5億25百万円(同54.1%増)、また、営業利益は12百万円(同52.8%減)となりました。

### [特記すべき事業展開と拠点新設・閉鎖の状況]

- (1) 子会社のナラサキリース(株)(本社:札幌市中央区)、青森ナラサキレンタル(株)(本社:青森県青森市)の二社を、2010年6月1日付で吸収合併しております。
- (2) 当社の当第3四半期連結累計期間における国内拠点の新

設・閉鎖はありませんでしたが、上述の吸収合併に伴い旧ナラサキリース(株)・青森ナラサキレンタル(株)の営業拠点13拠点中7拠点(北海道:6拠点、青森県:1拠点)を当社の拠点として継承しました。

#### 通期業績予想の修正理由

建設関連事業を主として展開する当社グループの事業環境は、中間期までは、経済緊急対策による補正予算関連工事で地方部の国内建機レンタルに恩恵があったこと、また、東南アジアなど諸外国の経済成長に伴って海外向け中古建機販売が好調に推移したことなど比較的良好に推移しました。一方、第3四半期以降は、当面の景気対策に係る政策不在、建設工事の端境期と国政選挙による政治空白なども控えていたことから非常に不透明感が強く、建設需要は大きく減速すると予想しておりました。

しかしながら、現状では当初想定していたよりは、その減速感は弱く、比較的堅調に推移していることから、第3四半期以降の収益の大幅な落ち込みは一応回避できるものと判断し、今回通期業績予想を修正するものです。

## ■ 連結財務諸表

### 連結損益計算書

(単位:百万円)	第45期第3四半期 (2008.11.1~2009.7.31)	第46期第3四半期 (2009.11.1~2010.7.31)
① 売上高	47,258	53,191
売上原価	34,976	37,096
売上総利益	12,281	16,094
販売費及び一般管理費	12,580	13,209
② 営業利益又は営業損失(△)	△299	2,884
営業外収益	289	313
営業外費用	533	741
③ 経常利益は経常損失(△)	△544	2,457
特別利益	51	296
特別損失	377	222
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△870	2,531
法人税、住民税及び事業税	197	1,317
法人税等調整額	△282	86
少数株主利益	72	21
④ 四半期純利益又は四半期純損失(△)	△858	1,105

### 連結キャッシュ・フロー計算書

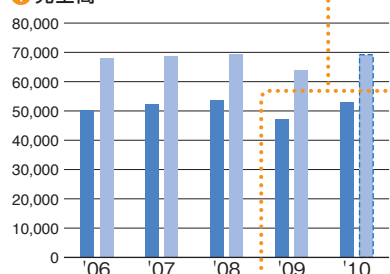
(単位:百万円)	第45期第3四半期 (2008.11.1~2009.7.31)	第46期第3四半期 (2009.11.1~2010.7.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	802	7,526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,011	227
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,145	△2,334
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,063	5,420
現金及び現金同等物の期首残高	17,566	14,086
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	-	185
非連結子会社との合併に伴う現金 及び現金同等物の増加額	24	50
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,527	19,742

#### Point

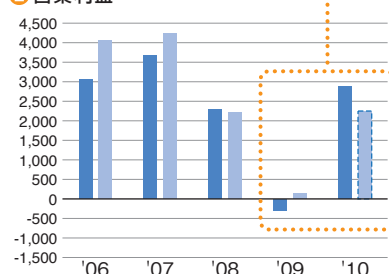
連結子会社の増加に加えて、建機レンタル需要の改善並びに中古建機市況が回復したことにより、売上高は前年同四半期比12.6%の増加、営業利益及び経常利益も改善しております。

■ 第3四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円

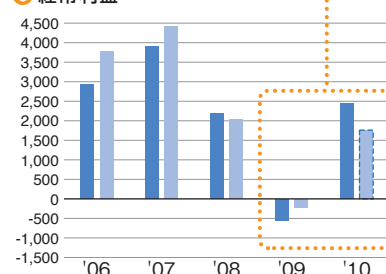
#### ① 売上高



#### ② 営業利益



#### ③ 経常利益





## 連結貸借対照表

(単位:百万円)	第45期第3四半期末 (2009.7.31)	第46期第3四半期末 (2010.7.31)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	32,730	35,306
固定資産	64,095	69,328
有形固定資産	57,273	63,617
無形固定資産	917	706
投資その他の資産	5,903	5,005
<b>⑤ 資産合計</b>	<b>96,826</b>	<b>104,634</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	29,038	40,982
固定負債	31,005	26,429
負債合計	60,043	67,412
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	36,268	36,484
資本金	9,696	9,696
資本剰余金	10,960	10,960
利益剰余金	15,635	15,852
自己株式	△23	△24
評価・換算差額等	169	176
その他有価証券評価差額金	169	207
為替換算調整勘定	-	△31
少数株主持分	344	561
<b>⑥ 純資産合計</b>	<b>36,782</b>	<b>37,222</b>
負債純資産合計	96,826	104,634

### Point

前年同様、日本国内の建設需要の絶対的な減少とレンタル単価の下落が続いておりましたが、提案型営業などにより競合他社との差別化を図り地域シェア向上に努めた結果、四半期純利益は11億5百万円となりました。

なお、前年同四半期は8億58百万円の四半期純損失でありました。

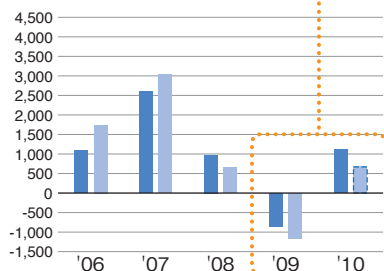
## とってもいいモノ 読者プレゼント

今号のプレゼントは、おなじみの当社オリジナルダイアリー手帳です。巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で30名様にお贈りします。塩ビ製の手帳カバーは水に強いだけでなく、手触りのいいオーストリッチ風の仕上がり。表面に当社ロゴを織り込んだHPアドレスを、裏面にはカナモト坊やをエンボス加工してあります。中面も機能性にこだわり、1週間分のスケジュール欄とフリースペースを見開きにした前半部分、そしてデータ野の引かれた集計表タイプのメモページをたっぷり設けた後半部分という構成。使い勝手のよさが発揮される一冊です。

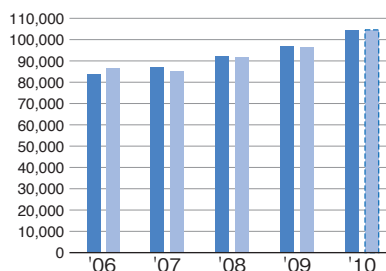


ご応募の締め切りは11月12日(当日消印有効)です。  
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

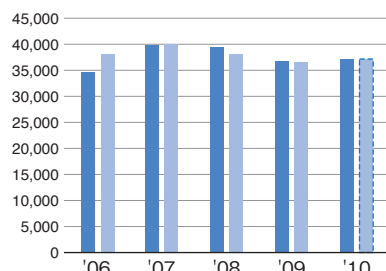
### ④ 四半期(当期)純利益



### ⑤ 総資産



### ⑥ 純資産



## 株主様からのご質問に答える

## Q &amp; A コーナー

いつもアンケートハガキをご返送いただきありがとうございます。皆様から頂戴したご質問にお答えするのがこのQ&Aコーナーです。

ご意見、ご要望がございましたら、巻末のハガキにご記入のうえ、ご返送ください。

**Q** 年初から比べると、円高が進んでいます。輸出産業では大きな打撃になると新聞などに書かれていますが、カナモトの中古建機輸出にも影響がありますか？ また、それは業績にも響きますか？

**A** 当社では、当初計画どおり、2010年5月までに販売予定台数の8割程度の売却を完了しております。業績的には、第1四半期、第2四半期の好業績の要因の一つです。ご質問のとおり、円高は中古建機価格にも影響が出ており、報道によりますと、2010年3月の価格と9月の価格を比べると、平均して5%程度下落しております。前述のとおり、当社では中古価格が高値安定をしている時期にその大半の売却を完了しておりますことから、現行価格が続きましても、2010年10月期の業績には悪影響はありません。

とはいえ、現状のままの為替が続きますと、当然、来期以降の売却、導入計画を練り直さなければならなくなりますので、政府にはカンフル剂的な介入ではない、一日も早い解決策をお願いしたい処です。kcc

## Lineup 取扱商品のご紹介

今回ご紹介するのは、各所からレンタルを待望されていた1台。狭い場所での高所作業がスムーズに、そして安全に行える軽四輪高所作業車「高所mini」です。

“日本初”となる軽自動車ベースの高所作業車がついに登場しました。その名も「高所mini」。住宅地などの狭い道路上で行う電気工事や各種メンテナンス、作業スペースがあまり取れない庭の剪定や塗装工事など、これまで高所作業がしづらかった場面で活躍する1台です。バケットは地上5.2mまで上昇するため、写真のようなメンテナンス作業もラクラク行えます。

また、既存車種にも引けを取らない「安全性」も備えています。非常停止・非常用降下・過積載検出の各装置に加えて、アウトリガージャッキの張り忘れによる車両横転を防止するジャッキインターロックなどの機能も充実しています。優れた機動性と安全性を発揮する高所mini。“高所作業の幅”もぐっと広がりますね。kcc



【高所miniの主なスペック】

- 積載荷重：100kg(定員1名含む)
- 最大地上高：5.20m ●最大作業半径：3.87m
- ブーム旋回角度：左右160°

## 株価チャート (週足)



## 株価および売買高 (東証分のみ。単位:円、出来高は千株)

	始 値	高 値	安 値	終 値	出来高
2009年9月	457	458	389	416	878
10月	413	413	381	389	2,015
11月	380	383	308	319	850
12月	334	398	326	395	1,124
2010年1月	396	446	389	405	877
2月	405	426	389	397	626
3月	408	444	395	443	865
4月	450	514	448	462	1,553
5月	450	450	371	411	1,235
6月	415	436	392	416	987
7月	416	445	403	428	795
8月	438	445	420	434	610

## 株主メモ (2010年9月30日現在)

資 本 金	96億9,671万円(払込済資本金)
発 行 株 数	32,872千株(発行済株式の総数)
事 業 年 度	11月1日から翌年10月31日まで
株 主 総 会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
公 告 の 掲 載	当社ホームページ、日本経済新聞*

\*当社公告の掲載につきましては、当社ホームページ(<http://www.kanamoto.co.jp>)または<http://www.kanamoto.ne.jp>に掲載いたします。

なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
同郵便物送付先及び電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様のご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ります。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 証券会社の口座ではなく、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(連絡先左記)で承ります。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
- 郵送物の発送と返戻、取扱期間経過後の配当金に関するご照会は、三菱UFJ信託銀行(連絡先左記)で承ります。

### ● 編集後記 ●

9月3・4日。東京ビッグサイトで開催された日経IRフェアで、向い合わせになったのは大和証券さんのブース。そのブースで講師をされていたラジオNIKKEIでもお世話になっている櫻井英明氏から、「カナモトの第2四半期短信をみると大幅増収増益なのに、通期予想を変更していないのはおかしい。よ〜く、話を聞いたほうがいい」と少々手厳しいエールをいただいて、早や1ヵ月。やっと、上方修正の発表をすることができました。が、やはり第3、第4四半期は厳しさ募る国内景気。今期は何とか固められたものの、来期は如何であろうと心配しきりです。これ以上公共工事予算は減らさないと某国交大臣のコメントですが、政府を頼らず、民需の回復に…も期待せず、今期同様、小さな事もキチンと拾ってトコトコ深耕あるのみ。頑張ります。ところで、新しいホームページはご覧いただけましたか? 小誌では紹介しきれないトピックから、B級グルメの食べ歩き、上海通信等々盛りだくさん。最後の盛りだくさんは少々言い過ぎですが、ホームページもご鼻屑に。cc

2100  
環境配慮率100%再生紙を使用

PRINTED WITH  
SOY INK

本誌は、再生紙と  
大豆インクを使用しております。



株式会社 **カナモト**

(東証一部・札幌 証券コード9678)

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600 (大代表)

[www.kanamoto.co.jp](http://www.kanamoto.co.jp)